

国公立小学校

調査回答学校数:980校

1 平成21年度の学校図書館の利用状況等について

1-(1)

貸出冊数について

把握している	66%
把握していない	31%
無回答	0%
無効回答	2%

1-(2)

課業期間の開館日等

①開館日(複数回答可)

平日毎日	69%
平日(毎日以外)	33%
土曜日	0%
日曜日	0%
無回答	1%
無効回答	2%

①の設問で平日(毎日以外)と回答した学校が開館している日数

1日	20%
2日	25%
3日	20%
4日	29%
その他	5%

②開館時間(複数回答可)

全日	25%
始業前	6%
昼休み	58%
休み時間	41%
放課後	6%
その他	19%
無回答	1%
無効回答	1%

★

★ その他(抜粋)

- ・午前中
- ・図書の日
- ・授業で使う時間
- ・雨の日の休み時間
- ・20分休憩

③開館日の利用人数(複数回答可)

0~19人	23%
20~39人	32%
40~59人	11%
60~79人	7%
80~99人	6%
100人以上	22%
無回答	1%
無効回答	3%

1-(3)

長期休業期間の開館日等

①開館日(複数回答可)

平日毎日	3%
平日(毎日以外)	7%
土曜日	0%
日曜日	0%
その他	51%
無回答	31%
無効回答	9%

★

★ その他(抜粋)

- ・夏期休業日
- ・水泳指導日
- ・学校登校日
- ・夏休みに5日間

①の設問で平日(毎日以外)と回答した学校が開館している日数

1日	47%
2日	14%
3日	20%
4日	4%
その他	16%

②開館時間(複数回答可)

全日	3%
午前	51%
午後	1%
その他	15%
無回答	28%
無効回答	2%

★

★ その他(抜粋)

- ・児童登校時間
- ・水泳指導前後
- ・10時~12時

③開館日の利用人数(複数回答可)

0~19人	22%
20~39人	24%
40~59人	11%
60~79人	4%
80~99人	1%
100人以上	2%
無回答	27%
無効回答	11%

国公立小学校

1-(4)
貸出方法

コンピュータ処理	19%
図書カード利用	70%
コンピュータ処理と図書カード両方を併用	6%
その他	2%
無回答	3%
無効回答	0%

★

★ その他(抜粋)

- ・貸出ノート
- ・個人のファイル

1-(5)
学校図書館の
コンピュータについて

ある	43%
ない	56%
無回答	0%
無効回答	1%

コンピュータの保有台数

1台	63%
2台	25%
3台	3%
4台	0%
5~10台	2%
11台以上	0%
その他	6%

コンピュータの使用方法
(複数回答可)

本の検索(自校)	60%
本の予約(自校)	27%
本の貸出・返却(自校)	60%
本の検索(他の図書館等)	42%
ホームページ等の閲覧	37%
CD-ROM等の閲覧	8%
メールの受発信	20%
その他	24%
無回答	1%
無効回答	0%

★

★ その他(抜粋)

- ・図書館だよりの作成
- ・公立図書館の本の予約
- ・統計処理

1-(6)
選書の方法について

①過去3年間の購入冊数

H19年度	409826
1校あたり	418.2
H20年度	445750
1校あたり	454.8
H21年度	470652
1校あたり	480.3

②図書選定の際、参考とするもの
(3つまで回答可)

児童生徒のリクエスト	54%
教職員のリクエスト	83%
書評誌	9%
新聞書評・広告	7%
出版店・取次店の目録	62%
インターネット上の情報	7%
公立図書館の選定リスト	10%
その他	8%
無回答	0%
無効回答	7%

★

★ その他(抜粋)

- ・書店の展示会
- ・課題図書
- ・他校司書との情報交換
- ・読み聞かせボランティアの情報

③選定方法

担当教職員	26%
選定委員会等(教職員のみ)	42%
選定委員会等(教職員と児童生徒)	2%
図書委員会等(児童生徒のみ)	1%
その他	23%
無回答	0%
無効回答	5%

★

★ その他(抜粋)

- ・各学年担任集団でそれぞれ選定
- ・学校図書館司書が選定
- ・担当職員とボランティア
- ・全教職員で選定

国公立小学校

1-(7)

学校図書館の利用状況について

①3年前との比較

進んでいる	58%
進んでいない	2%
変わらない	38%
無回答	0%
無効回答	1%

②進んでいる点(複数回答可)

貸出冊数	58%
利用人数	62%
授業での利用	44%
その他	13%
無回答	0%
無効回答	1%

★

★ その他(抜粋)

- ・新刊図書が増えた
- ・調べ学習での利用
- ・休み時間の開放
- ・ボランティアによる開館
- ・図書室環境

③学校図書館が活性化と思われる

改善方策について(2つまで回答可)

選書の改善	54%
施設の魅力の向上	39%
啓発の推進	37%
読書計画の立案及び実施	16%
公立図書館との連携	6%
ボランティアとの連携	18%
★その他	6%
無回答	0%
無効回答	6%

★ その他(抜粋)

- ・蔵書数の増加
- ・開館、貸し出しにかかわる人材の確保
- ・教職員対象の図書館研修を毎年行う
- ・授業との連携

2 学校図書館の担当職員について

2-(1)

教諭以外の担当職員について

いる	38%
いない	62%
無回答	0%
無効回答	1%

2-(2)

どのような職員か

学校図書館司書	38%
図書整理員(有償)	6%
★その他	53%
無効回答	3%

★

★ その他(抜粋)

- ・学校図書館司書ボランティア
- ・読書活動支援者

2-(3)

職員の勤務日数等

1日	3%
2日	12%
3日	10%
4日	29%
5日	38%
無効回答	7%

1日の時間数

2時間未満	10%
2時間以上4時間未満	6%
4時間以上6時間未満	23%
6時間以上7時間未満	20%
7時間以上8時間以下	38%
無効回答	3%

2-(4)

職員の仕事内容(複数回答可)

環境整備	99%
貸出・返却	93%
受入及び配備	85%
購入する本の選択	83%
本の展示	80%
レファレンスサービス	61%
読み聞かせ	86%
ブックトーク	52%
図書館便りの発行	65%
図書委員会の指導	43%
図書館等との連絡・調整	60%
★その他	15%
無効回答	0%

★

★ その他(抜粋)

- ・ストーリーテリング
- ・利用指導、授業支援
- ・図書委員会の支援
- ・公立図書館からの団体借り受け

3 公立図書館との連携について

3-(1)

連携内容について(複数回答可)

団体貸出	64%
図書配送システム	23%
移動図書館	11%
担当者連絡会	29%
連携学習会	14%
司書の派遣	15%
図書館見学	49%
★その他	11%
全く行っていない	8%
無回答	2%
無効回答	0%

★

★ その他(抜粋)

- ・読み聞かせボランティアの派遣
- ・図書館ボランティアの派遣
- ・廃棄本の受け入れ
- ・FAXIによるレファレンス対応
- ・学校図書館支援ボランティアの研修依頼

国公立小学校

●公立図書館との連携内ごとの年間実施回数

1回	26%
2回	14%
3回	21%
4回か5回	10%
6回以上10回以下	12%
11回以上20回以下	8%
20回以上50回以下	8%
51回以上	2%

1回	10%
2回	7%
3回	9%
4回か5回	9%
6回以上10回以下	20%
11回以上20回以下	16%
20回以上50回以下	24%
51回以上	6%

1回	19%
2回	6%
3回	0%
4回か5回	1%
6回以上10回以下	26%
11回以上20回以下	40%
20回以上50回以下	8%
51回以上	0%

1回	61%
2回	10%
3回	7%
4回か5回	3%
6回以上10回以下	8%
11回以上20回以下	11%
20回以上50回以下	0%
51回以上	0%

1回	61%
2回	13%
3回	5%
4回か5回	10%
6回以上10回以下	8%
11回以上20回以下	2%
20回以上50回以下	0%
51回以上	0%

1回	59%
2回	4%
3回	5%
4回か5回	6%
6回以上10回以下	12%
11回以上20回以下	3%
20回以上50回以下	11%
51回以上	0%

1回	97%
2回	2%
3回	0%
4回か5回	0%
6回以上10回以下	1%
11回以上20回以下	0%
20回以上50回以下	0%
51回以上	0%

3-(2) 今後望む連携内容 (3つまで回答可)

団体貸出	46%
図書配送システム	38%
移動図書館	18%
担当者連絡会	8%
連携学習会	16%
司書の派遣	50%
図書館見学	15%
★その他	3%
無回答	6%
無効回答	0%

- ★ その他(抜粋)
- 共同のイベント
 - 利用教育の実践交流
 - 蔵書点検、図書館整備 (棚の配置、書架サイン)
 - への助言・協力

4 学校での読書活動について

4-(1) 授業で学校図書館を活用する1クラスあたりの時間数(月平均)

0~3h	30%
4h~8h	68%
9h~12h	0%
12h以上	0%
無回答	1%
無効回答	0%

4-(2) 学校図書館を活用した授業の年間計画について

作成している	39%
作成していない	58%
無回答	3%
無効回答	0%

国公立小学校

5 読書活動に関わるボランティアについて

5- (1)

教室等で「絵本の読み聞かせ」等を行うボランティアについて

いる	78%
いない	22%
無回答	1%
無効回答	0%

◆市町村立小学校

教室等で「絵本の読み聞かせ」等を行うボランティアはどのような人か(複数回答可)

学校支援ボランティア	17%
保護者等PTAの方々	47%
地域の読書グループ	45%
その他	14%
無回答	1%
無効回答	0%

★ その他(抜粋)

- ・公立図書館司書
- ・公立図書館に登録しているボランティア
- ・有償ボランティア

●読書活動に関わるボランティアごとの年間活動日数

学校支援ボランティア

1日	4%
2日	3%
3日	5%
4日か5日	3%
6日以上10日以下	20%
11日以上20日以下	22%
20日以上50日以下	31%
51日以上	12%

保護者等PTAの方々

1日	2%
2日	1%
3日	4%
4日か5日	1%
6日以上10日以下	19%
11日以上20日以下	28%
20日以上50日以下	33%
51日以上	12%

地域の読書グループ

1日	19%
2日	6%
3日	11%
4日か5日	5%
6日以上10日以下	24%
11日以上20日以下	18%
20日以上50日以下	13%
51日以上	3%

◆国立小学校

教室等で「絵本の読み聞かせ」等を行うボランティアはどのような人か(複数回答可)

保護者等PTAの方々	2校
地域の読書グループ	0校
連携先の大学生	0校
その他	0校
無回答	0校
無効回答	0校

5- (2)

学校図書館の運営に協力するボランティアについて

いる	42%
いない	56%
無回答	2%
無効回答	0%

◆市町村立小学校

①学校図書館の運営に協力するボランティアはどのような人か(複数回答可)

学校支援ボランティア	26%
保護者等PTAの方々	59%
地域の読書グループ	15%
その他	10%
無回答	0%
無効回答	1%

★ その他(抜粋)

- ・有償ボランティア
- ・PTAのOBの方々
- ・地域の方々

◆国立小学校

①学校図書館の運営に協力するボランティアはどのような人か(複数回答可)

保護者等PTAの方々	2校
地域の読書グループ	0校
連携先の大学生	0校
その他	0校
無回答	0校
無効回答	0校

②活動内容

図書館の環境整備	91%
貸出・返却業務	44%
本の展示	22%
本の受入と配備	15%
読書相談の対応	9%
読み聞かせ	72%
ブックトーク	7%
図書館便り	6%
その他	7%
無回答	0%
無効回答	5%

★ その他(抜粋)

- ・本の修理
- ・図書館開放の補助

自由記述(抜粋)

2-1(5)学校図書館担当職員の配置による効果と課題

- ・図書館の常時開館、本の整備などの環境作りが行われ、児童がいつも本を見られる環境ができています。本の購入などが適宜行われることで、話題の本や各学年の成長にあった本が備えられ、児童の読書意欲を高めている。
- ・休み時間も図書館を開放することができるため、児童は自由に好きな時間に本の貸出や返却をすることができます。児童にとって図書館としての魅力を向上させるために館内整備ができる。児童と直接本について話をする機会が多いため児童の希望を反映させた選書を行うことができる。課題は、図書時間の「司書におまかせ」の授業が多いこと。
- ・学習情報センターとしての図書室利用のため、学校図書館司書をもつと活用できることを担任の先生方に認識してもらうことが必要。
- ・司書教諭は授業を持つので、司書教諭だけでは十分なことはできないが、専任の学校司書が配備されているので、蔵書構築・環境整備・読書指導など、学校図書館全般にわたって司書教諭と連携して行うことができる。
- ・学校司書は、できれば数年は異動しないでその学校の図書館教育に関わってほしいが、3年で異動があるので、その学校の図書館教育の充実発展のためには、課題である。

3-1(3)公立図書館との連携による効果と連携を進めるための課題

- ・調べ学習などに必要な図書を運搬システムで届けてもらえるので直接公共図書館へ行かなくてもよいので大変助かる。
- ・同じ時期に同じ本が集中することがあり、全て貸し出しできるとは限らない。
- ・自校図書館にない本も活用できたり、たりない本の活用ができ、授業にプラスの側面がある。
- ・配送システムがなく、なかなか本を借りに行く、返しに行くができていない。
- ・調べ学習時は関連する参考資料をまとめて借りることができる体制があるので利用すべきである。しかし近年パソコンの普及により、図書を利用する機会が減ってきている現実がある。
- ・公立図書館から団体貸出などをしてもらい、蔵書不足や学習に必要な種類の本を借りる選択の幅がふえて助かっている。しかし、本校が図書館見学している場所は、本校の児童が日常的に訪れるには距離がある。そのため、例えば、公民館等に公立図書館の分署等ができ、読書コーナーや貸し出し・返却(PC利用)できればと考える。
- ・図書館が遠いため、資料の団体貸し出しに支障がでている。また、公共図書館に学習に必要な資料数も少ない。今後の課題としては調べ学習に対応して、資料をいかにすばやく借り、また返却しやすいようなシステムをつくることが必要不可欠である。また、公共図書館側に周辺学校の学習内容を知ってもらう機会が必要である。
- ・選書支援や司書派遣により、子どもの読書への意欲や関心が高まる効果が期待できる。できれば、学校で図書を検索し予約できるシステムを構築してほしい。
- ・公立図書館と連携することにより、学校図書館にない本を借りることができたり、団体貸出で一定期間教室に本を置くことができたりするので、読書量が増える。しかし、紛失した場合に、本の弁償をしないといけないので管理が難しい。
- ・公立図書館は毎月新しい本の現物が業者から入るので、その情報を提供いただきたい。
- ・学校と公立図書館それぞれの本の利用状況について、情報交換の場がほしい。

国公立小学校

4-(2) 学校図書館を活用した授業の年間計画を作成していない理由

- ・各クラスで利用しているので、特に、学校全体の年間計画は作成していない。
- ・作成はしていないが、国語部会を通して、読書指導における授業の持ち方の話し合いは行っている。
- ・現在、週1回図書時間を設定しており、自由に読書したり、また、総合的な学習や社会・理科・国語などの教科との関連で調べたり活用したりしている。このように、教科の年間計画の中に盛り込んでいるため、学校図書館のみの計画は作成していない。
- ・週1回、各学級が図書室を使用する時間を割り当てているが、取り組みについては、担任に任せている。
- ・主に図書の時間に活用しているが、図書の時間は、国語科の中に含まれているため、特にそれ以外での年間計画は作成していない。
- ・各教科・総合的な学習時に必要に応じて、柔軟に活用しているので、特に年間計画としては作成していません。

4-(3) 「朝の読書」など一斉読書以外の特色ある取り組み及びその効果

- ・「雨の日の図書館開放」、「読書週間の図書館開放」の実施や、図書委員会児童による低学年向けの読み聞かせ活動。
- ・お話し会(教職員による読み語り、地域の方々による読み語り、公共図書館の方々による読み語り、高学年児童による低学年児童への読み語りなどを行なっている。本を好きと答える児童の割合や貸出冊数の増加が見られる。
- ・図書委員とボランティアでペアをつくり、全学年に読み聞かせをしている。
- ・「とよしつたより」を毎月全家庭に配付し、先生のおすすめ本や興味を引く本などを掲載することで、児童はもちろん保護者にも読書活動に対する啓発ができています。
- ・火・木曜日の朝読書の時間に、図書委員会が毎月20冊ずつ教室に本を置いてくる。子どもたちは新しい本を楽しみに読んでいる。
- ・卒業生文庫として6年生が自分たちの選んだ本を「文庫」として小学校に寄贈していく。
- ・ブックママ事業において、週4回、昼休みを活用し、本の読み聞かせ、紹介、貸出、補修、整理をボランティアの方で行っている。
- ・廊下にミニ図書コーナーを設置している。
- ・玄関に図書コーナーを設けて、月ごとに読んでほしい図書を展示して、読書に興味を高めている。
- ・読み聞かせ用のおすすめ本をブックトラックに入れて、職員室に置いている。

5-(3) 読書活動に関わるボランティアがいることの効果と連携を進めるうえでの課題

- ・学校図書館の維持、管理について学校の教職員だけではゆき届かない面があるが、その点をボランティアの方に補ってもらっている。連携を進める上では、学校側とボランティアの方との相互理解を深めていく必要がある。
- ・PTA活動の一環であるので、継続した連携ができています。
- ・学校図書館司書が常勤ではないため、図書館活動が十分ではないという現状である。ボランティアの協力により、もっと活動を活発にできるという意見もあるが、学校図書館という場所での児童のプライバシーをそれ以上に大切にしよう心がけている。ボランティアによる入り込みが増えるほど児童のプライバシーを守るのが難しくなると思うので、ボランティアの活動については慎重に進める姿勢でいる。
- ・教員の業務の忙しさと子どもがもっと図書室で本を読みたい欲求と、この相反する現状の課題を少しでもクリアしていくのがボランティアの方々の存在である。1日の中で仮に数十分でも協力いただければ子どもの欲求や読書量の増加を満たすことができる。
- ・ボランティアに図書室の管理を任せてしまいがちになっている。
- ・活動内容をどこまでお願いしてよいものか迷う。
- ・ボランティアの中心となる人材や研修方法が課題。
- ・ボランティアの人数と回数の確保が課題。

6 お尋ねした項目以外に特色ある取り組み及びその効果

- ・図書館を活用した授業を、教職員向けの便りに掲載し、校内で取組みを共有できるようにしている。
- ・夏季休業期間中に、「図書館まつり」を実施。出演は本校教職員や児童民生委員の方々、PTA文教委員の方々、おはなしボランティアの方々による大型紙芝居や読みきかせ、手品や切り絵などを披露している。
- ・市内の司書教諭や図書館担当者や学校図書館司書が中心となって、おすすめの本の冊子を作成している。担任がその冊子を利用して、教室でも本の紹介や読み語りをすることで、子どもと本の出会いの機会が増えていく。市立図書館と学校図書館司書との連携でも様々なブックリストを作成している。
- ・図書館教育を研究組織として位置付けている。従って、各教科において読書だけでなく調べ学習など積極的な学習を展開している。
- ・地域の方に呼びかけて、不要な本を学校に寄贈してもらい、学級文庫として活用している。

7 学校図書館の運営について、困っていることや悩み

- ・保護者や地域の方に図書館ボランティアの募集をしているが希望者がいない。
- ・本の配置について、作品のあいうえお順にならべるか、作者のあいうえお順に並べるか、シリーズでかためる方が良いか、それとも、分類番号に従って配置するべきか、迷っている。
- ・学校図書館を活性化する取組みを、学校側から主体的に取り組むコーディネート役がいない。
- ・今年度から学校図書館支援ボランティアを募集し、活動を始める予定である。今年度は、図書館開放、読書環境づくりをお願いするが、今後どのような活動ができるでしょうか。
- ・ボランティアの人数が年度により増減すること。保護者が中心なので、中学校卒業とともに入れ替わりが多く、研修が十分でない方も増えている。はぐみネットを通じて、地域の方への協力を依頼しているが十分届いていない。
- ・学校図書館の整備をどのように進めていけばよいか。(もともと十進分類で整備されていないため、新しく購入した本を整理しにくい。放課後ルームが常時使用しているため整備しにくい)
- ・教科書で紹介される本の一覧、おすすめの本の紹介、地域の図書館の取組み等教えてくださると活用していきたい。
- ・学校司書が配置されていることで、子どもの読書や図書館教育に関して、学校司書に任せてしまう教員もいる。連携の重要性を伝えてはいるが、なかなか積極的な姿勢が見られないこと。